

1. 件名：OECD/NEA CSNI 次期中期プロジェクト関係者会議
(第2回)

2. 日時：令和3年9月15日(火) 14時00分～14時45分

3. 場所：原子力規制庁 18階1F会議室

4. 出席者

原子力規制庁

金子緊急事態対策監、安井原子力規制特別国際交渉官

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

岩永企画調査官、星主任技術研究調査官

資源エネルギー庁

湯本原子力事故災害対処審議官

原子力発電所事故収束対応室

中館室長補佐、黒澤係長

日本原子力研究開発機構 中村安全研究・防災支援部門副部門長 他4名

原子力損害賠償・廃炉等支援機構 上席執行役員 他2名

5. 要旨

- (1) 原子力規制庁より、標記関係者会議を開催した趣旨について、本年6月1日に開催した第1回標記関係者会議以降、国内外関係者により調整が進められてきた次期中期プロジェクトに係る提案内容を改めて確認するとともに、当該提案内容が国内関係者が合意できるものであることを確認する旨を説明した。
- (2) 次期中期プロジェクトのオペレーティングエージェンシーとなる日本原子力研究開発機構より、提案内容の概略について説明があった。
- (3) 各国内関係者より、当該提案内容に同意するとともに、次期中期プロジェクトにおけるそれぞれの役割を改めて確認し、当該提案内容に基づいて国内関係者自らが責任をもって本プロジェクトに取り組んでいく旨の回答があった。
- (4) 原子力規制庁より、当該提案内容について国内関係者による合意が成立したことを確認するとともに、これから年末にかけて行われるOECD/NEA CSNI等における次期中期プロジェクトの承認プロセスを本日の提案内容に沿って進めていくこと及びプロジェクト成立後も本日の確認結果を踏まえて国内関係者が連携して進めていく旨発言して会議を終了した。

6. 資料

OECD/NEA CSNI次期中期プロジェクト関係者会議(第2回)資料

- ・議事次第
- ・東京電力福島第一原子力発電所事故に関するOECD/NEA次期プロジェクトについての共通認識

以上